

# 久慈地区更生保護 サポートセンターだより

久慈地区更生保護サポートセンター  
〒313-0292 常陸太田市町田 163-1  
電話 FAX 0294-87-8770  
e-mail kujisaposen@kjc.biglobe.ne.jp  
<https://kujichiku-hogoshikai.com/home/>  
開館日月・火・木・金曜日 10～16時  
第37号 令和6年10月1日

## 久慈地区更生保護司会視察研修の実施 市原青年矯正センター 令和6年9月9日(月)

9月9日(月)、久慈地区更生保護司会の視察研修が実施されました。視察先は千葉県市原市にある市原青年矯正センターです。参加者は保護司14名でした。

市原青年矯正センターは、全国初の「知的・発達障害の26歳以下の青・少年を対象とした少年刑務所」で、収容人員は、72人のところ、現在は27名が収容されているとのこと。他の刑務所から見ると最小規模です。職員は70名おり、受刑者ごとに刑務官および教育専門官からそれぞれ1名ずつ個別担任をする複数担任制を導入しているとのこと。刑務官と教育専門官は、お互いの専門性を生かしながら、個別面接や個々の受刑者の課題に即した指導を行っているとのことでした。

ここの特徴の一つは、社会に近い環境にするために、施設の中で自由に出入りができる「半解放寮」であることです。部屋には鍵がなく、施設の中を自由に行き来できるようになっています。受刑者自身に時間管理をしてもらい、掃除や洗濯なども役割分担しながら、基礎的な生活を身につけるようにしているとのことでした。集団処遇に加えて、個別面接、日記指導、個別課題の個々の特性や生活状況に応じた指導をきめ細かく対応しているとのこと。これは、出所後の社会復帰の支援を重視しているからとのことであると副所長さんから熱心な説明がありました。

これらのことは、私たち保護司にとりましても対象者への対応の仕方に大変参考になることではないかと思ひながら市原青年矯正センターをあとにしました。参加した保護司からは「初めて市原青年矯正センターを視察しましたが、社会復帰を図るために特性に応じたきめ細やかな処遇を行っていることなど、充実した視察研修ができました。」との言葉が聞かれました。



市原青年矯正センター・参加者全員で集合写真



副所長の説明を聞く参加者



副所長の説明

## 第Ⅱ期地域別定例研修会の開催

令和6年9月27日(金)午後1時30分 大子町文化福祉会館まいん 研修室

令和6年9月27日(金)午後1時30分、大子町文化福祉会館まいん1階研修室を会場に久慈地区保護司19名が出席し、第Ⅱ期地域別定例研修会が開催され、森一史会長の挨拶に続いて、研修に入りました。水戸保護観察所の佐藤光洋保護観察官から研修のねらいと研修の流れについて説明がありました。

今回の研修では、保護司が取り扱う関係報告書のなかでも、最も作成する機会の多い、保護観察経過報告書(甲)及び生活環境調整報告書について関係書類を踏まえたその書き方や意義を改めて確認するとともに、留意事項などについて理解を深めることを目的としています。

佐藤光洋保護観察官から「保護観察経過報告書(甲)」、「生活環境報告書」「個人情報管理・情報セキュリティ対策」「保護し専用ホームページ“H@(はあと)”」についての講義がありました。



第Ⅱ期地域別定例研修会の様子

## 常陸太田支部第74回“社会を明るくする運動”作文審査会

令和6年9月11日(水)午後1時30分 サポートセンター 水府支所大会議室

令和6年9月11日(水)午後1時30分、サポートセンターや水府支所大会議室で第74回“社会を明るくする運動”作文審査会が開催されました。13名の保護司が審査員として出席し、審査に当たりました。優秀な作品を小学校3点、中学校5点を選出しました。

## 大子支部第74回“社会を明るくする運動”作文審査会の開催

令和6年9月11日(水)午前10時 大子町役場1階会議室

令和6年9月11日(水)午前10時から、大子町役場1階会議室において、保護司7名が出席し、第74回“社会を明るくする運動”作文審査会を開催されました。

小学校の部では、10点の出品の中から1点を、中学校の部では、35点の中から2点を選出し県に送りました。



作文審査会の様子



審査の状況

## 藍綬褒章受章に伴う常陸太田市長訪問挨拶

令和6年9月11日(水)午前11時30分

春の褒章で藍綬褒章を受章されました白石古登保護司が宮田達夫常陸太田市長を訪問し、改めて受賞の挨拶に行き参りました。森一史久慈地区保護司会長、岡部芳雄常陸太田支部長、城石加代子総務部長が同行しました。



藍綬褒章を受章に伴う市長訪問挨拶

### 【お詫びと訂正】

本誌、令和6年9月5日、第36号に掲載しております記事で、字句の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。1ページ7行目「岡田芳雄副会長」は、正しくは、「岡部芳雄副会長」です。